

# 「一体改革」に臨む～県関係衆院議員～

2012年(平成24年)6月11日 月曜日

愛媛新聞



村上誠一郎氏 自民・2区

## 財政再建は待ったなし

欧州の金融危機や日本の1千兆円を超える借金を考えれば、財政再建は待ったなしだ。それなのに民主党内では小沢一郎元代表が法案に反対を唱え、採決を先延ばしにしようとする勢力もある。財政規律が世界最悪

の日本で、何を考えているのかという思いだ。

もう一つ大きな問題は、社会保障で受益と負担のバランスが取れていない点

だ。実は国民が受けている金などを主張している。国

社会保障サービスは、負担が全ての面倒を見るのもよりもはるかに多い。年金、医療、介護を今の仕組みのまま続けられれば、いくら消費

税を上げてもきりが無い。どこを減らし、どこを我慢してもらうかを政治家は逃げて議論しなければなら

ない。一体改革というから社会保障を根本から見直すと思

ったら、民主は(年金保険料を)払っていない人も給付が受けられる最低保障年

立後、民主はマニフェスト(政権公約)を謝罪し国民に信を問うべきだ。

【記事より抜粋】